

# オンラインアイドルフェスという体験

## —TIF オンライン 2020 ライブ視聴記—

田川隆博

(中部大学人間力創成総合教育センター)

### 1. オンライン化されたフェス

2020年10月2日(金)、3日(土)、4日(日)の3日間の日程で、TOKYO IDOL FESTIVAL オンライン 2020 (以下、TOKYO IDOL FESTIVAL を TIF、TOKYO IDOL FESTIVAL オンライン 2020 を TIF オンライン 2020 と表記) が行われた。本稿では、この TIF オンライン 2020 はどのような体験だったか、自らの視聴体験を振り返りながら記していきたい。オンラインフェスのオンラインフィールドワークとも言えるだろう。

もともと上記の日程で、通常のフェスが行われることが予定されていた。しかし、新型コロナウイルスの影響で、2020年7月30日に運営から TIF の開催中止が発表される<sup>1</sup>。夏の大規模イベントが次々と中止になる中、秋に行われる TIF の判断が注目されていたが、結果は中止であった。前年の TIF2019 はのべ 88,000 人が来場しており、同規模の人が集まるイベントの開催は不可能であるとの判断は、やむを得ないだろう。

しかし、中止発表の同日7月30日にオンラインアイドルフェス開催決定のニュースが TIF 運営からリリースされる<sup>2</sup>。すでにコロナ禍が深刻化して以降、配信という形でのライブ開催やオンライン特典会はアイドル界に広がっていた<sup>3</sup>。ライブと特典会を収益の柱とするアイドルにとって、ライブができないことは危機とといった状況だった。オンラインはそのような状況下でおそらく唯一の解だが、ふだん日常で行っているライブをそのままオンラインで配信するというのでいいのか、それともオンラインだからこそできる何か新しいことがあるのか、いろいろなところで模索が始まっていた。TIF は最大のアイドルフェスであり、TIF が示すオンラインフェスのあり方が、今後のアイドル界にとってターニングポイントになるかもしれない。そのような期待を少なからず背負いながら、2020年の TIF オンラインがスタートする。

TIF は 2010 年に第 1 回目が開かれ、出演アイドル 45 組<sup>4</sup>、総入場者数約 5,000 人<sup>5</sup>でスタートしたとされ、年を追うごとにその規模を拡大した。2019 年には出演アイドル 212 組、総入場者数約 88,000 人であったという<sup>6</sup>。アイドルにとってもファンにとっても参加したいと願うフェスへと成長してきた。8月27日(土)、28日(日)に開かれた 2012 年、7月27日(土)、28日(日)に開かれた 2013 年以外は、8月第一週の土日、2016 年以降は 8 月第一週の金土日の日程で開かれている。真夏にアイドルとファンが東京・台場地区に集う風景はアイドルイベントとしてすっかり定着したと言って良い。2020 年はオリンピックの関係で、TIF は例年の夏開催では

---

<sup>1</sup> 『TOKYO IDOL FESTIVAL 2020』開催中止のお知らせ TOKYO IDOL FESTIVAL オンライン 2020

[http://www.idolfes.com/2020/tif\\_news/detail.html?p=tif\\_news202030\\_01](http://www.idolfes.com/2020/tif_news/detail.html?p=tif_news202030_01) 2021年2月25日最終アクセス。

<sup>2</sup> 世界最大のオンラインアイドルフェス「TOKYO IDOL FESTIVAL オンライン」開催決定！TOKYO IDOL FESTIVAL オンライン 2020 [http://www.idolfes.com/2020/tif\\_news/detail.html?p=tif\\_news202030\\_02](http://www.idolfes.com/2020/tif_news/detail.html?p=tif_news202030_02) 2021年2月25日最終アクセス。

<sup>3</sup> 岡田によれば、音楽ライブ配信の先駆けとなったのは、2020年3月7日、8日に予定されていた、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールでのワーグナー『神々の黄昏』公演の無人上演で、LIVE ストリーミングを 20 万人以上が視聴したという (岡田 2020 : ii)

<sup>4</sup> 「TIF2010 ラインナップ」TOKYO IDOL FESTIVAL2010 <http://www.idolfes.com/2010/lineup/index.html> 2021年2月25日最終アクセス。

<sup>5</sup> Wikipedia「TOKYO IDOL FESTIVAL」[https://ja.wikipedia.org/wiki/TOKYO\\_IDOL\\_FESTIVAL](https://ja.wikipedia.org/wiki/TOKYO_IDOL_FESTIVAL) 2021年2月25日最終アクセス。

<sup>6</sup> 『TOKYO IDOL FESTIVAL』2020 年は初の 10 月開催」音楽ナタリー-2019 年 12 月 17 日 <https://natalie.mu/music/news/359823> 2021 年 2 月 25 日最終アクセス。

なく秋開催の予定になっていた。

さて、2020年のTIFはオンライン開催となったが、ステージは例年同様に東京・台場地区を中心に設営された。ステージ設定の詳細については後述する。出演アイドルは143組。2017年223組、2018年207組、2019年212組という近年の出演数に比べて7割ほどの出演数になっている。各地域ブロックを勝ち抜いた全国選抜のアイドルはTIF2020の出演権が次のTIF2021の出演権として確保されるなか、TIFオンライン2020への出演も決まっている。

## 2. ステージ設定

TIFオンライン2020は、ライブを楽しむライブステージとトークなどを行うコンテンツ配信で構成されている。ライブステージはHOTSTAGE、SMILE GARDEN、SKY STAGE、Loft Stage、CG labo、バーチャルTIFという6つのステージ構成になっている。メインのHOT STAGE、フジテレビ湾岸スタジオ屋上のSKY STAGE、野外のSMILE GARDENという構成は例年のTIFと同じである。ただし、HOT STAGEはZepp Diver Cityなどの会場がこれまで使われてきたのとは異なり、スタジオであった。Loft Stageは今回の新ステージで、場所は言及があったのかかもしれないが、筆者は詳細を知らない。映像に映る周りの風景から、Sky Stageの近くで、フジテレビ湾岸スタジオ屋上の別の場所に設えられたように見える。またCG laboも新しいステージで、ここはアイドルのパフォーマンスがCGによる背景映像と合成されユニークなステージと言える。

今回の試みで目玉の一つが、バーチャルTIFである。ステージ説明は「この世界の主役はVTuber。バーチャルスペースに出現した仮想現実ステージ」ということである。近年急速に人気を得ているVTuberをメインに据えた意欲的なステージといえる。

またコンテンツ配信は、SHOWROOMで配信されるトークを中心としたステージであるINFO CENTRE、FOD（フジテレビオンデマンド）で配信されるTIF STUDIO、ニコニコチャンネルで配信されるIDOL SHOWCASE、ニコニコ生放送で配信される楽屋裏配信などの企画があり、トーク、カラオケ、バラエティなどアイドルのさまざまな側面を楽しめる構成になっている。

## 3. ライブ体験記

ここからは筆者の体験について主観を交えたりフレクションを記していきたい。

筆者は、10月4日（日）のみチケットを購入した。チケットは単日券6,900円、3日間通し券17,900円となっている。TIF2019のチケット代は、1日各日券7,500円、3日間通し券17,500円だったので、TIF2019に比べて1日だけならTIFオンライン2020の方が安いものの、3日間通し券ではTIFオンライン2020の方が高くなる。

10月4日の出演者は、AKB48、日向坂46、STU48、乃木坂46 4期生、ももいろクローバーZ、BiSHといった知名度の高いラインナップに加え、SUPER☆GiRLS、アップアップガールズ（仮）、LinQ、アイドルカレッジなどのTIF黎明期からの出演者、わーすた、26時のマスカレイドなどの常連組という具合に、この日だけでも非常に充実している。

筆者は朝から自宅のPC用ディスプレイの前で、時折席を外しながら一日を過ごした。ライブステージの体験をまとめていきたい。

映像の視聴はスムーズだった。ステージ間の移動もクリック数を最小にできるよう工夫されていて、インターフェイスはとても使いやすかったと感じた。YouTubeのライブ配信によく似ているTIF LIVE STREAMと言われるオリジナルサイトから映像配信され、いま見ているステージを大きく映し出し、右側にはファンの書き込んだコメ

---

<sup>7</sup> TIFオンライン2020 MAP <http://www.idolfes.com/2020/map/> 2021年2月25日最終アクセス。

ントストリームが、そして、映像の下にはステージ移動がすぐに可能なリンクが貼られている。

まずもっとも面白い試みだと感じたのは CG labo である。あるアイドルが、「すごい緑（のステージ）」と発言していたので、グリーンバックのスタジオでパフォーマンスしているようである<sup>8</sup>。そこに CG 映像と組み合わせる。それによって仮想の空間に生身の人間がいるという映像が出来上がる。

今回の試みは、ステージそのものを CG 映像化するものであり、オンラインライブの良さは、こうした最新技術との融合でライブの新たな魅力を生み出すことにあるように感じた<sup>9</sup>。

SMILE GARDEN はこれまでも数多くの「伝説」を生み出してきたステージである。今回無観客配信ではあったが、野外の開放感のあるステージはそのままである。「みなさーん、こんにちはー」とアイドルが呼びかけたあと、無言の時間が数秒流れるというのも多くのアイドルに見られた。ステージのアイドルは、画面の向こうの観客に呼びかけている。

SKY STAGE はフジテレビ湾岸スタジオの屋上に設営される。東京湾とレインボーブリッジ、フジテレビを臨み、空が広く TIF の名物ステージである。地下の囲まれたライブハウスでパフォーマンスをすることも多いアイドルにとって、この開放的なステージはアイドルパフォーマンスを引き立てる魅力を持ったステージとなっている。真夏の炎天下は屋根がないのでアイドルにとってもファンにとっても暑さが厳しいステージであるが、夕方になると海上の風が通り、快適に過ごせるステージでもある。今回、例年と異なるのは、ステージが段になっていないことである。床面を直接ステージ化しているのは今年の新ステージである Loft Stage も同様である。

筆者はバーチャル TIF のステージをほとんど見なかったが、Task have fun の登場時のみ見ていた。最初は実写で登場していたが、歌のパフォーマンス前に、メイド服をまとった二次元キャラクター化して登場。そのままキャラクターがパフォーマンスを行った。アニメキャラクターになったアイドルを見たいかどうかは難しいところだ。ただ、二次元と三次元の融合という試みは面白いと感じた。

次に HOT STAGE である。メインステージでもあり、豪華なラインナップである。STU48 の登場では、中継が行われた。TIF オンライン 2020 では他に SKE48 も中継が行われている。STU48 の活動拠点である客船 STU48 号で船上ライブを行い、それを中継するという試みである。STU48 号は瀬戸内海を拠点としているため、他地方の客にとって、ライブを見るには移動を伴うが、中継のメリットはどこにいても見られることである。オンラインである以上、そもそも場所に縛られる必要がない。どこにいてもパフォーマンスを見せることができるし、またそれをどこからでも見ることができる。船上デッキでのパフォーマンスは周囲の風景とともに配信され、野外の魅力伝えていた<sup>10</sup>。

TIF オンライン 2020 でとりわけ注目を集めたのは、10 年ぶりに TIF のステージに帰ってきたももいろクローバーZ である。今回、パフォーマンスをするにあたって、メンバーからサプライズが用意されていた。セットリストの前半、行くぜっ！怪盗少女→オレンジノート→ココ☆ナツ→走れ！と続くパフォーマンスは 10 年前の登場時と同じものであったようだ<sup>11</sup>。このセットリストはファンのお話をさらった。今回の TIF オンライン 2020

<sup>8</sup> 2020 年 11 月 6 日にニコニコ生放送で行われた TIF オンライン 2020 公聴会では、実際に CG labo がグリーンバックのステージであることを明かしていた。また色担当のあるグループでは緑が不利になることも事前に伝えられていたようだ。

<sup>9</sup> 筆者がニコニコ超会議で体験した超歌舞伎は、眼前のステージに初音ミクの 3DCG キャラクターを出現させ、リアル歌舞伎と融合を図るもので、稀有な体験を生み出した。CG 映像と生身の人間の融合というのは今後ますます発展していく方向性にも見える。

<sup>10</sup> STU48 公式ツイッターは、「TIF オンライン 2020 🌊なんと👁️STU48 号からお届けしました〜👁️」と船をバックにした集合写真とともに TIF の様子を伝えている (@STU48\_official [https://twitter.com/STU48\\_official\\_/status/1312643018915106816?s=20](https://twitter.com/STU48_official_/status/1312643018915106816?s=20) 2021 年 2 月 25 日最終アクセス)。

<sup>11</sup> 「ももクロ、10 年ぶり TIF に帰還 10 年前のステージ再現『TIF2020』〈セットリスト〉」モデルプレス 2020 年 10 月 4 日 <https://mdpr.jp/music/detail/2249538> 2021 年 2 月 25 日最終アクセス。

では映像の隣にファンからのコメントも表示される仕組みだったが、多数のファンの喜びコメントで埋め尽くされた。

以上のライブ体験を振り返ると一つのキーワードが浮き上がる。それは「融合」である。リアルパフォーマンスとCG映像の融合、二次元と三次元の融合。オンラインライブ視聴だからこそ、その試みが行われたし、新しい体験を生むものを感じられた。映像技術を駆使してライブを配信するのは、力のある運営に限られるのかもしれない。今回のTIFについていえば、テレビの技術で培ってきたことと、ネットの配信が組み合わさることで配信ライブにのみある楽しみ方が提示された。それはライブ映像をただ配信するだけのものとは異なる体験を用意した。コメント機能も含めて、オンラインライブ視聴はこう楽しめるという方向性が一つ示された。CG映像との融合は、今後も見たいライブの形だと感じた。

一方、メインステージであるHOT STAGEはスタジオからの配信ということからしても、テレビを見ている感覚に近かった。出演者がHOT STAGEは豪華なだけに、よけいにテレビに近い体験だった。すなわち、融合という視点から見ると、新しさをそれほど感じなかったということである。実験的な映像配信ライブの面白さが見出されただけに、メインステージをどう配信するか、これはTIFオンラインが抱えた次の課題なのかもしれない。

通常フェスとオンラインフェスの違いは、他者と体験を共有しているという実感の持ちやすさに関連している。周囲にファンがたくさんいる通常のフェスとは異なり、自室で一人映像を見ると、孤独な体験になる。オンラインフェスでも同時刻に同じ映像をみることで“いま”を共有することはできる。しかし、自室で見ることで“ここ”という場所を共有できない。そもそもライブ会場にいないのだから、場所の共有はできないのである。

今回のTIFでは、コメント機能を用意することで、言語のコミュニケーションを可視化した。それによって部分的には他者とのつながりを感じることができる。部分的にと言うのは、コメント機能は非表示にすることが可能で、映像だけを楽しみたい人にとっては効果がないものである。

#### 4. 見逃し配信

2020年10月7日(水)まで見逃し配信が行われた。見逃し配信には2つのメリットが有る。ひとつは、見たいライブが重なったときに、一方をリアルタイムで見て、もう一方を後で見るというように、見たいすべてのライブを見ることができるということである。もうひとつは、ライブを後から追体験できることである。リアルタイムの体験と後からの追体験の差があまりないということが配信ライブの一つの特徴である。見逃し配信では、ファンがコメントを書き込む機能を利用することはできない。コメントを書き込みながら参加したい人にとっては、見逃し配信は制限を感じるだろう。しかし、コメントを書き込まない人にとっては関係ない。濱野はニコニコ動画のコメント機能に着目し、ニコニコ動画は非同期的な視聴体験であるのに、コメントが画面上に流れ、それを読み書きすることで、あたかもみんなと同じ動画を見ている<かのように>思えることに着目し、その体験を疑似同期と呼んでいる(濱野 2008: 211-213)。疑似同期、つまり“いまここ”を共有しない非同期の体験のはずなのに、“いまここ”を共有している<かのように>感じるということである。疑似同期に大きな役割を果たすのがコメントである。画面上を流れるコメントを読む、あるいは自ら書き込むことで、あるポイントでつつこみ、あるポイントで「歓声」をあげて喜ぶ。あたかもみんなと同じ動画を見ているかのように楽しめるということだが、それが今回のTIFでも同じような体験が準備された。今回はLIVE、つまり生配信であったから、すでに“いま”は共有しているのだが、一人で映像を見ているのに、コメントでつながりながら映像を楽しむことができるという点で、それは疑似同期的な体験といえるだろう。一人で映像を見てい

る人にとって、人とのつながりを感じるというのは、オンラインライブの一つのあり方を示しているといえるのではない。実際、TIF オンライン 2020 と前後して、アイドルでは有料や無料の配信ライブが行われるようになってきているが、コメントを読み書きしながらライブを見るのはポピュラーなスタイルといってよい。もっとも TIF については、以前からニコニコ動画でのライブ配信はあり、コメントを書き込みながらライブを見る層も一定数いた。したがってまったく新しい体験とは言えないだろうが、全面的にそうになったということが今回の特徴といえるだろう。

さて、このフェス体験を改めて考えてみよう。ニコニコ動画の体験は、かつて茶の間にみんなそろってテレビを見ていたものをネットで疑似的に再現していると言えるのではない。それに対し、オンラインフェスはリアルなライブを疑似的に再現するものではないということは指摘しておきたい。リアルなライブには存在するファンが会場に不在で、ライブが進行する。岡島が指摘するように、ライブで得られる情報量と配信動画の情報量には大きな差がある<sup>12</sup>。また、コメントを読むことにも関心のない人、ライブ映像のみを楽しみたい人にとってはコメントを非表示にできる。さらに、見逃し配信は“いまここ”の体験の共有という感覚をよりいっそう薄める。

見逃し配信には後で見られるというメリットがある。しかし、そのことがライブの一回性を損ねているともいえる。通常のフェスでは、同時進行で複数のライブが行われる。ステージも異なるため、何を見るか選択しなければならない。見たいライブの時間が重なっていることはあり、いくぶん大げさにいえば、決断が必要である。そのとき見られなかったライブは、あとからツイッターでその雰囲気を確認したり、音楽ニュース等で読んだりするのだが、ライブの体験とは異なる。

見逃し配信があるオンラインフェスは、見るということに関してだけ言えば決断は限定的である。もちろん、リアルタイムで見ている感覚やコメント機能の利用など、見逃し配信では得られない体験はある。しかし、通常フェスで、あるライブを選択することによって別のライブを体験できないということに比べれば、後から同じ映像を見ることができるといえるのは大きいといってよいだろう。

ファンが目の前にいないライブが進んでいった。多くのアイドルは通常通り自己紹介をし、画面の向こうにいるファンを呼びかけていた。ファンが「いる」ことを前提としたライブが行われていた。しかし、ファンの不在はやはり感じられた。それは、コールアンドレスポンスやヲタ芸などのリアクションの不在によってである。たとえ今回有観客で行われていたとしても、声を出せない、密集できないなどファンのリアクションは制限されたものになっていただろう。これはオンラインフェスの問題というより無観客の問題で、無観客の物足りなさは随所に感じた。

最後のエンディングで、チェアマンの指原莉乃さん、サポーターの土田晃之さんがいる HOT STAGE と各会場を中継で結んでちょっとしたトークが行われた。その際、異口同音にアイドルが「涼しい」と伝えていた。秋の野外、真夏でない物足りなさ、ファンからのリアクションのなさが涼しいという言葉に出ていると見ると読み込み過ぎだろうか。

後追い体験について。今回、最初から危惧していたが、ライブ後すぐに映像が You Tube に上げられた。削除もあまりされずいまも視聴可能になっている。有料ライブに関するセキュリティが甘いことは、残念だと言わざるを得ない。ますます体験の一回性を損ねるものであり、こちらは改善を求めたい。

## 5. まとめに変えて

---

<sup>12</sup> 岡島紳士 2020 「ライブ中止、卒業保留…コロナが『会いに行けるアイドル』ブームにもたらしたもの」『現代ビジネス』2020.08.02 <https://gendai.ismedia.jp/articles/-/74534?page=5> 2021年2月25日最終アクセス。

TIFはアイドルの見本市として始まった。ファンの側から言えばアイドルとの出会いがあり、アイドルの側から言えばファン獲得の契機である。コロナ禍でアイドルとファンがひとつの場所に集うフェスは開かれなかった。しかし、オンラインフェスという形で実現され、アイドルとファンは新しい経験をした。

乃木坂46が2021年2月に行った9周年ライブでは、視聴チケット販売数が24万1585枚、推定視聴者数は72万人だったという<sup>13</sup>。TIFオンライン2020では視聴者数等の発表は管見の限り、2021年2月時点で無いようである。したがって、どれだけのアイドルファン、TIFファンが視聴したのかは分からない。ただ、見本市としての可能性はオンラインであっても、それどころかオンラインでこそ発揮されるのではないか。見逃し配信もあることで時間的制約もなく、オンラインなので場所の制約もない。ライブハウスが都市部に集中していることから、アイドルのライブも都市部で行われることが多い。したがって遠方のファンにとって少なからず制約はあるだろう。だが、オンラインフェスはどこからでも見ることができ、ファン獲得の契機となりうる。

ただ、これだけ高いチケット代では従来のアイドルファン、TIFファンであっても今回は敬遠した人もいただろう。筆者も一日券しか買わなかった。通常フェスとほぼ同額のチケット代金が妥当かも議論の余地があるように思う。TIFだからこその豪華ラインナップで、演者を揃えるのにかなりの出演料が発生しているだろう。また新たな映像技術、トラブルが生じないように念入りな配信設計等の経費が発生していることもわかる。さらに、次年度に向けた資金調達という意味もあったかもしれない。しかし、それでもなお、得られる体験を通常のTIFと比べるとゆえに、手数料等を含めて7,000円を超えるチケット代はやはり高いと感じる。参加した人にとってたくさんのアイドルを見られる点で例年と変わらないが、アイドルからみたファン獲得の契機となるかは限定的だったかもしれない。

単純な比較は難しいが、ニコニコネット超会議2020夏に配信された初音ミク、中村獅童出演、全編無料の超歌舞伎「夏祭版 今昔饗宴千本桜」は23万5000人が生放送で視聴したという<sup>14</sup>。TIFでは従来、エリアは限られるものの無料で見られるステージがあった。オンラインフェスでも、たとえばあるステージは無料で見られるなど、ライブステージの配信方法は検討に値するように思う。

通常のTIFではステージ間に距離があり、移動時間も考えながらライブを見るスケジュールを組む。しかし、TIFオンライン2020はクリック一つでスムーズなステージ間移動ができ、多くのライブをリアルタイムで見ることができる。もちろん、フェスのステージ間移動も含めてフェスの祝祭感であり、移動が悪いことではないものの、移動に制限がなくライブ視聴がスムーズなのはオンラインの利点だといえる。リアルライブとCG映像の融合、二次元空間へのアイドルの登場などフェスの新たな楽しみ方は提示された。

今後はどうなるか現時点で判断することはできないが、一点感じたのはファンのリアクションのアイドルへのフィードバックが問われるのではないかとということである。画面の向こうにファンがいるという想像ではなく、可視化である。アバターやコメントなど、ファンがそこに「居る」と感じられるフェスであれば、より新しいフェスの形になっていくのかもしれない。

## 【文献】

濱野智史、2008、『アーキテクチャの生態系—情報環境はいかに設計されてきたか—』NTT出版

岡田暁生、2020、『音楽の危機—《第九》が歌えなくなった日—』中公新書。

---

<sup>13</sup> 「乃木坂46、9周年ライブでチケット販売数24万枚、推定視聴者数72万人」オリコンニュース2021年2月25日  
<https://www.oricon.co.jp/news/2185610/full/> 2021年2月25日最終アクセス。

<sup>14</sup> 超歌舞伎「夏祭版 今昔饗宴千本桜」23万人の視聴者前に閉幕、中村獅童「未来はこれから」ステージナタリー2020年8月17日 <https://natalie.mu/stage/news/392422> 2021年2月25日最終アクセス。